

基盤研究(S) (代表：谷口正信) 「広汎な観測に対する因果性の導入とその最適統計推測論の革新」による国際シンポジウムのご案内

## 記

Waseda International Symposium 「Introduction of general causality to various data and its innovation of the optimal inference」

(なお本集会は早稲田大学数理科学研究所統計科学分野のキックオフ・ミーティングを兼ねています)。

開催日時：2018年10月22日(月)～10月24日(水)

開催場所：早稲田大学理工学部 55 N 棟 1階 02 大会議室

(<http://www.sci.waseda.ac.jp/eng/access>)

使用言語：英語

内容・目的：Granger が時系列に因果性を導入して半世紀になる。この研究の流れは経済、金融だけでなく、グラフ、ネットワーク、遺伝子、疫学まで広がってきている。本シンポでは、その流れの研究進展の把握と、この分野への統計的最適推測論の構築をおこない、さらなる一般化観測への展開を目指す。本シンポでは、該当分野の国際的先端的研究者を招聘し、我国の研究者との研究交流、さらなる研究発展をめざす。具体的な研究対象は、時空間観測、高次元観測、連続時間からの離散時間観測、時系列の刈り込み観測、グラフ、トポロジカルデータ、遺伝子を意識しており、これらの分野からの研究発表を募集します。また、金融リスク解析、円周や多様体上の分布を持つ従属観測への推測、医用画像や海洋観測へのトポロジカル推測、LAN, LAMNに基づく最適推測論、経験尤度解析などの講演も歓迎します。講演申し込み多数の場合は人数調整させていただきます。なお、ご参加は、自由にできますので、奮ってご参加ください。

旅費：講演者に配分。

宿泊：斡旋しない。

講演申込期限：2018年8月31日(金)。

講演申込先：明石郁哉（早稲田大学数理科学研究所）(f.akashi@aoni.waseda.jp)

英文題目とA4サイズ1ページ以下の英文アブストラクトを上記にお送りください。

文責：早稲田大学理工学研究所： 谷口正信